

会 議 録

1 会議名

令和7年度第3回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・公の施設の使用料等の見直しについて（公開）

【自主的な審議】

- ・自主的審議について（公開）

3 開催日時

令和7年9月24日（水）午後6時30分から午後8時18分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・ 委 員： 坪田会長、横田副会長、京谷委員、佐藤（和）委員、佐藤（幸）委員、
白滝委員、田村委員、中原委員、番場委員（欠席者3名）
- ・ 資産活用課： 戸松副課長、藤野主事
- ・ 事 務 局： 北部まちづくりセンター
内藤所長、勝島副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【勝島副所長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【坪田会長】

- ・ 挨拶

- ・会議録の確認：横田副会長に依頼

議題に入る前に、前回7月29日、第2回地域協議会の報告事項「農業経営基盤強化の促進に関する計画『地域計画』について」に対する、質問の回答が届いているので、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

先回の地域協議会で、佐藤（幸）委員から、資料「地域計画（2）地域農業の現状及び課題」の「地域内の担い手と地域外の農業法人等が連携して」という文面について、「地域外から谷浜・桑取区に来て、農業に従事している法人や個人は実際どれぐらいいらっしゃるのか」というご質問をいただいた。その件について担当課に確認したところ、回答として、農地台帳上では谷浜・桑取区に1ha以上の耕作地があって、住所は谷浜・桑取区以外という方の経営体を集計すると、法人で1つ、個人で15名の方がおられるということで、全て主に水稻による経営体であるという回答だった。実際、谷浜・桑取区に住所がない方でも、この地域に来て農業をされている方がいるということである。

【坪田会長】

意見等を求めるがなし。

議題【報告事項】公の施設の使用料等の見直しについて、資産活用課へ説明を求める。

【資産活用課：戸松副課長】

- ・挨拶

公の施設の使用料等の見直しについて説明させていただく。使用料等の見直しについての説明に先立ち、その前提となる公共施設等総合管理計画に基づく取組のイメージについてご説明する。

- ・資料「公共施設等総合管理計画に基づく取組のイメージ」

資料「公の施設の使用料等の見直しについて」に基づき説明

皆様のお住まいの谷浜・桑取地区には、使用料等を見直す対象施設は2施設ある。具体的には、谷浜地区多目的研修センター、谷浜・桑取地区公民館、2枚看板になっているがこちらの施設。もう1つは、桑取地区多目的研修センター、谷浜・桑取地区公民館桑取分館、2枚看板になっている。この2つである。

【坪田会長】

ただ今の説明に対し、質問等はあるか。

【佐藤（幸）委員】

最後の説明で、谷浜・桑取地区の会館について、理解が届かなかった。もう少しどう
いうことなのか教えていただけないか。

【資産活用課：戸松副課長】

対象施設は先ほど申し上げた２施設である。１つ目は、谷浜・桑取地区公民館。２枚
看板とは、１つの建物だが、谷浜・桑取地区公民館と、谷浜地区多目的研修センターと
いう看板が２つ掛かっているという意味で、２枚看板と通称呼んでいる。２つ目は、谷
浜・桑取地区公民館桑取分館。桑取地区多目的研修センターと２枚看板になっている。
公民館２施設が、使用料等を見直す対象施設となっている。

現時点で、使用料を具体的にいくらに変更するかは決まっておらず、令和８年度に見
直しを行い、令和９年４月からの適用を目指す。

【白滝委員】

現状では、この２つの施設は、使用料は発生しているのか。その辺もわからないので
教えてほしい。

【資産活用課：戸松副課長】

それぞれの施設に使用料が設定されている。例えば、谷浜・桑取地区公民館は、大会
議室が１時間あたり１１０円に設定されている。ただ、地域の利用が多いことは把握し
ており、実際に、皆様が地域で利用するときには減免になっていることが多いと思う。

【白滝委員】

１１０円から何％減免されるのか。

【資産活用課：戸松副課長】

５０％または１００％である。

【白滝委員】

借りる内容によって減免は変わるのか。

【資産活用課：戸松副課長】

どういう団体が、どのような目的で利用するかによって、減免率は変わってくる。

【田村委員】

これは何が目的なのか。経費が、例えば、維持管理費が高くなった。暖房費が高くな
った。だから使用料を上げなければいけないと、単純にそういうことか。

【資産活用課：戸松副課長】

様々な要因があり、物価が高騰していることも背景にある。施設にかかる維持管理費、

例えば、修繕等も以前より金額が上がっている状況である。また、施設が古くなれば修繕費も増えていく。市の特定の施設だけではなく、公共施設全体がそのような状況にある。高度経済成長期に作られた施設が多く、築年数が50年経っている施設もある。そういった中で、老朽化も進んでおり、コストがかかるため、見直さなければいけないというところである。

【田村委員】

そうであるならば、最初にそういう説明をして、何のためにこんな説明をするのかという話になる。確かに、実態はわからないわけではないが、「このような事情で、市としては困っている。だから市民の皆さん助けてください。」というような言い方が適切ではないのか。

【資産活用課：戸松副課長】

先ほどの説明の中で、施設の老朽化による維持管理費等の経費の増加や、人口減少に伴う利用者数も減少が見込まれ、財政負担の増加が懸念されるという話をさせていただいた。そのような中で、将来のまちづくりを見据えて、引き続き類似する施設の機能集約や適正配置を進めていくという話もある。施設の運営や管理にかかる費用については、施設を利用する方だけではなく、利用しない人も含む市民全体の税で施設の維持管理費を払っている。受益者負担の適正化を図っていくためには、使用料についても見直していかなければならない。市民全体が負担する税は、物価高騰や老朽化等でどんどん増えていく一方、使う人の負担が増えないというのは公平ではないと考えている。

【田村委員】

それに対して言うと、公の施設は、もともとそういう性質である。物価が上がったからそう変わったというわけではなくて、もともとそういう性質である。もともと過去からずっと、みんなそうやっていたではないか。今になってなぜそんなことを言わなければいけないのかということが、改めて言う理由が私にはわからない。

【資産活用課：戸松副課長】

施設使用料は、見直してこなかったわけではなく、おおむね3年から5年程で、見直しを行ってきた。前は、令和元年から2年にかけて見直しをしているが、それからコロナ等もあり、見直しができなかったため、今回、改めて見直しのお願いをさせていただきたいと思っている。

【佐藤（幸）委員】

すっきりしないのは、「見直し」というのは「改定」だと思う。本来、見直すということは、金額が上がることもあるし、下がることもある。しかし、具体的には値上げである。もう少し、住民のところにスーッと入るような説明が必要ではないか。実際、私たちは施設を使っている、お金を払って使った機会がない。例えば、100円が120円に上がったとしても、大したことはないのではないかと行ってしまえばそういうことだが、その根底にある、ものの考え方というか、個人的には違和感というか、不納得のような思いがある。行政のほうでは淡々と説明ということだろうが、淡々と説明されればされるほど、違和感が残る。その辺は、住民の思い、ただ経費が上がったから上げる、そんな単純なものなのか。住民のための施設でもあるわけだから、もっと住民に寄り添うスタンスで、どうしようかという提案があると、そういうことかなという気持ちにもなる。淡々と説明されればされるほど、大した金額ではないかもしれないがいいのかな、行政は大した金額でないところにも、住民に負担を押し付けてくるのかというように、私は受け取った。

【資産活用課：戸松副課長】

例えば、公民館であれば、お金を払って利用する人は、恐らく少ないのだろうと思う。個人で利用する場合は、使用料がかかるが、地域協議会での利用の場合や地域のイベントでの利用であれば、実際は100%減免になっていることが多いのではないかなと思う。なぜ減免しているかという、市としても公民館の利用については支援すべきと思い、住民の方に寄り添った制度になるようにという考えである。

使用料も今まで3年から5年に1度見直してきたが、物価高騰している中で、また財政についても、どんどん人口も減り、税金も収入も減っている。そういった中で今後、いろいろな経費がかさんでいき、まちづくりに必要な経費も捻出できなくなるという状況に陥ることになる。

一方で、公の施設の使用料というのは、減免されていることが多く、納めていない場合も多い。施設の維持管理費は、使っていない人も含めた市民全体の税から支払っており、受益者負担の公正化から考えれば、施設を使っている受益者が負担する使用料も上げなくてはならないと思っている。10年後、20年後に、自分たちの子ども世代、孫世代が困ることになるため、そういうことを避けたいという思いで今やっている。

【白滝委員】

佐藤（幸）委員がもやもやしているのは、数字が具体的に出てこないということがあ

と思う。普通の会社の経営であれば、収支報告で出して、明確に数字が出る。それが市政なので、市の予算の中でやりくりしている話だと思う。だから具体的にと言われても、すごく大変だと思う。資産活用課の援護をしているわけではないが、多分、みんな数字を出せと言われてたら、大変なことになると思う。私たちは、先ほどの説明を聞いて、委ねるしかないと思った。結局、谷浜・桑取区の施設の収支が合わなくなって、廃止しなければいけなくなったというような話にならないようにされている、と考えるしかないと思っている。

【中原委員】

実際に私どもが、谷浜・桑取地区公民館を使わせていただいているのは、老人会、町内会、南部協和会という団体であるが、全部減免でゼロである。お金を払うのは、個人が、何かをして人を集めてやるときにはお金を払う。地域に対しては、ここは恐らく全く使用料は請求されていないはずである。ただ、話があったように何億という維持費が全体でかかっているから、それが重荷なのだという話があったわけである。価格の変更というのは必要だと思う。私は今の話で、やむを得ないと思う。

【京谷委員】

私は、普通に働いているので、谷浜・桑取地区公民館を利用するのは地域協議会でしかない。ただ、子どもがスポーツをしていたので、体育館はよく借りていて、使用料が上がるような話は、指導者の間で話題にはなっていた。上がるのは嫌だが、変わるのは令和8年という話だが、今の市の税収や人口等を考えると、このままではやっていけないというのが簡単にわかる。10年後には、この施設があるかどうかとも怪しいとは思ってしまう。老朽化でこの施設を取り壊して、人口が減っているから建てられない、直江津のほうに行こうという話も現実的にはあるのではないかとと思っている。

民間のように再来月から上げるくらいのスピード感で見直してもいいのではないかと
思う。高齢者も多いし、そうでないと、もう回らないと思うというのが意見である。

【坪田会長】

金銭がからむ問題なので、市民感情が入る問題だと思う。恐らく谷浜・桑取地区公民館は、使用頻度が相当高いと思う。でも、収入はほとんどないと思う。全て減免の団体が使われていると思う。

逆に減免を少し上げるような形を取られたほうが、組織で、団体で来ていれば、それ
なりの予算や資金等を持っているので、個人やその団体から高い金額ではなくても、わ

ずかでも使用料を取るような形にすれば、市民感情が違った意味で変わるような気がする。現在の使用料はほとんどゼロである。ゼロだから使うわけだが、たとえ100円でも200円でも、何かあってしかるべきではないかと思う。これは、一個人の意見である。

【京谷委員】

坪田会長の意見に、すごく賛成である。また時給が上がって1,000円を超える。経営者としては本当に頭が痛くて、それが、ほとんど1日0円の経費で、人件費だけで、例えば8時間で9,000円、8,000円かかるとなると、現実的に難しいと私は思っている。0から500円にすると大ブーイングだろうが、10人利用して50円程度の負担であればいいのではないか、この地域の公民館がなくなるよりましである。

【資産活用課：戸松副課長】

大変貴重なご意見をいただきありがたい。

施設を守るという意味でも、使用料の改定が必要である。前半にも説明したが、上越市内にある公の施設、612施設すべてを、今後も維持管理していくということは、どんなに使用料を上げて、不可能である。施設の適正配置の取組も併せてやっていき、施設管理の適正化、例えば、開館時間や休館日を短くする、効果的、効率的な管理運営に見直す。受益者負担の適正化、使用料の見直し、減免基準の見直し、先ほど会長からお話いただいたが、今まで100%減免していたところを50%にする、50%減免していたところを30%減免にする。そういったことも今後見直していかなければいけない。そうしなければ公の施設サービスを提供できないということになる。

どうしても命に関わるような福祉的なサービスは、削れない部分もあり全体として何を見直していくかというところであると思う。公の施設に関わる経費も見直していかなないと、まちづくり全体が進まないという状況である。皆様のご意見も踏まえながら、見直していきたいと思う。

【佐藤（幸）委員】

今、この谷浜・桑取地区公民館を維持していく上でもというお話が出たと思う。そう言われてしまうと、もうお話することない。意見を言うことがない。誰しも、この公民館が無くなればいいと思っている人は一人もいないわけである。無くならないために値上げであると言われれば、「そうですか」と言うしかない。その気持ちを分かっていたきたい。

【白滝委員】

先ほど話に出てきた施設の適正化は、維持管理ができなくなったところを縮減するという話はあるということか。例えば、ここが対象になったとしたら、どういう手続きでなくなってしまうのか、あるいは、事前に地域の皆さんに相談して、「どうでしょう」という話になるのか、その辺がすごく心配なので聞かせてほしい。

【資産活用課：戸松副課長】

施設がなくなるという話は、施設管理の適正化ではなく、施設の適正配置になる。これが、施設の総量、数を見直すというところになる。ここの施設が、実際にどうなるかはわからないが、手続きとしては、地域の皆さんと協議し、データも示しながらお話しさせていただいて、ご理解を得るということになる。その後、議会への提案と同時並行となる場合もあるが、地域協議会、議会というかたちで条例を廃止し、施設の供用廃止をしていくというような流れになると思う。

【田村委員】

上越市は人口約18万人だったと思うが、施設が612とおっしゃった。例えば、桑取と谷浜とで2施設、どんな感じの分散なのか。もし少なくしなければいけないとしたら、どんな基準なのか。例えば、桑取、谷浜は絶対に残さなければいけないということが、基本的なコンセンサスとしてあって、高田や直江津で民間企業もやっているような、重複するような施設であれば、なくなってもいいのではないかとといった考え方があると思う。

【資産活用課：戸松副課長】

施設の適正配置は、今までも上越市が合併してから何回かに分け、取組をしてきた。利用者数が少ないところ、財政負担がほかの施設と比べ突出して多いところ、ほかの施設で代替できる施設があるところなど、そういったところをやめてきた。それについてはこれまで同様、類似する施設の機能集約はしていかなければならないと思っている。具体的にどこの施設がというのは、まだ今の時点でお示しするところにはない。

【坪田会長】

ほかに意見を求めるがなし。

資産活用課から今の意見等を踏まえながら、いい方向づけをしていただけるだろうと思っている。

－ 資産活用課 退室 －

【坪田会長】

続いて、【自主的な審議】自主的審議について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・資料No.1 「令和7年度第3回谷浜・桑取区地域協議会 自主的審議について

■様子を見ながら地域協議会として関わっていくもの

「ア．伝統行事、史跡、文化の継承 イ．地域で行われている行事について」に基づき説明

【坪田会長】

お盆や、七夕祭りなど、地域でそれぞれ伝統行事等を行った経緯もある。夢盆に限らず、皆さんが参加された行事で、地域の盛り上げ等を、見たり、聞いたり、体験した中での意見を1人ずつ話していただきたい。思いや、良かったところ、夢盆に出てこうだったなど、簡単でいいので、委員の皆様にお伝えしつつ、地域の活性化はどうだったかなど、考えてみたいと思う。

【京谷委員】

仕事でどの地域行事にも参加していないがいいか。

【坪田会長】

それはそれでいい。

【京谷委員】

この地域に城ヶ峰砦があることは、私はいいなと思っているが、年間どれくらいの人 coming しているのか。データはあるか。

【丸山主任】

年間のデータは手元にないが、砦に上ったらビー玉を容器に入れることで来場者数をカウントしていて、去年より多いといったデータはある。数字は後日お伝えする。

【京谷委員】

城ヶ峰砦の管理等で、この地域のお金を使っているわけだが、23日の謙信公祭に使うのはすごくいいのだが、もう少しお金を稼ぐシステムを考えたいと思ってしまう。唯一お金がかからずに、利益が少しだけ出るのではと思うのが、砦印である。御朱印や御城印のような感じで、砦印というものがあって、御朱印や御城印は300円から500円ぐらいである。ここに来る人は絶対に上杉謙信公が好きな人なので、御城印に上杉謙信公や落ちない城と書いて、例えば、受験に落ちない、お守りもセットで発売したら

っといいのではなど、夢は広がる。そういう砦印などを売りたい。売りたいが、あの場所にはないので、例えば、くわどり湯ったり村で売るといのはどうかと思っている。私は、先月滋賀県長浜市に行って山城を見た。山城は上れないが、歴史が好きな人は行ったという何か証拠が欲しい。車で3.5km先に御城印を売っていると聞いて行った。やはり、売れているようである。御城印や砦印は特に在庫を抱えない方がいいと思う。例えば、砦印と考えると、上杉謙信公と書いて、家紋のはんこを押せば、マニアは欲しい。私は上杉謙信公にそれほど詳しくないが、城ヶ峰砦1つでは少し弱いので、名立の灯台跡にある日の入り城の城跡と滝寺砦の3点セットの砦印を千円で売る。なおかつ、くわどり湯ったり村に、家紋アートといって家紋ラテを500円で売る。家紋のラテはステンレス型を作り、ラテの上にココアや抹茶をかければ家紋ができる。歴女は買う。謙信や景勝等の日本酒をセットにして、宿泊、晩酌セットとすれば、くわどり湯ったり村に宿泊者が増えて、部屋の名前も謙信や景虎にするというような夢は広がった。

城ヶ峰砦は、砦としては大規模な砦で、城クラスだと思っている。空掘りや掘り切り等、好きな人は好きである。そういう人たちがお金を落とすことを、この地域で考えていかないと、くわどり湯ったり村も温泉だけでこのままずっと安泰かという、そうではないので、地域でそういうものを考えてもいいと思う。そのためには、年間何人来ているか、春日山から来ているのか中桑取から来ているかによって集客が変わる。3つのお地蔵さんがあるなど、いろいろアイディアはいっぱい出るが、城ヶ峰砦へ行って満足して帰るだけではもったいないので、何かしら地域にお金を落とす、温泉へ行ってお金を落として、砦印を買って、ラテアートを買って、地域のまちおこしのようなことを考えていきたい。

【坪田会長】

城ヶ峰砦の管理をされている谷浜地域づくり協議会に、提案しながら話を進めて、地域協議会で意見として話ができるような輪ができればありがたい。

今、御朱印の話があったが、長浜にも阿比多神社というところがあって、御朱印発行を預かっている店が3軒ある。私もそのうちの1軒だが、全国からすごく来ている。私も詳しくないが、あそこは延喜式の神社で、歴史がある。今おっしゃるとおり、1枚300円で、日付を入れるだけにしてある。

【佐藤（和）委員】

夢盆には参加できなかったが、私が住んでいる西山寺という町内で、盆踊りをやった。

昔は、各町内で盆踊りをやって、どこの集落は何月何日何時ということで、応援というような感じで手伝いに行ったりしたらしい。「今日は西山寺の盆踊りだから、あちこちからお手伝いが来て、次は別の町内へお手伝いに行って」というシステムだったらしい。そのようにして交流していた時代があったのに、今はほとんどなくなってしまったが、私も青年会に入った当時は、うちの町内でやって、次は下綱子へ手伝いに行って、そういうことをした覚えはある。あちこちみんな行き来して、それでお嫁さんを見つけてきたということもあったらしい。昔は地域同士で良い交流をしていると感じた。そういうことは大切ではないか。今も盆踊りを続けいている町内会があるのであれば、どこの集落は、何月何日にやるという情報を知らせることは大切ではないかと感じた。

それから、城ヶ峰砦の狼煙上げにも行ってきた。ここに行くのは、私を含め高齢者と呼ばれる人ばかりである。私も退職してからこういう行事に関わるようになったが、もっと若い人に参加してほしい、そういう仕掛けもしなければいけないと感じている。

【坪田会長】

古きものが大事な部分がたくさんある。それを掘り出して、今に活用していくなど、何か方法を考えていけばいいのだろうと思う。

夢盆もしかりである。要は、お嫁さんを見つけるための1つの方策だということで、先日、地元の人からそんな話を聞いた。

【佐藤（幸）委員】

今、地域で盆踊りをやっているのは、西山寺で、かつては2日間やっていたすごいところである。今は1日のようである。そのほかでやっているのは、中桑取。それ以外では、西戸野でやっている。

夢盆だが、もっと集まればという思いでいたところ、知り合いの丹原の方がご夫婦で参加された。初めてだそうである。丹原から来たのは、そのご夫婦だけだったようで、全然知らなかった。たまたまNPO法人かみえちご山里ファン倶楽部（以下、NPOかみえちご）の広報誌「結の里」を取っているから、その中のチラシを見たということだった。もっと宣伝した方がいいというのがその人の話である。NPOかみえちごのスタッフにその話を伝えたところ、谷浜・桑取区の町内回覧版で周知しているとのことであった。実際、今年は大勢集まった。駐車場がほぼ満杯に近くて、主催者はこれ以上人が集まると困るという話だった。

盆踊りは二重ぐらいになったが、私たちが子どもの頃は、三重ぐらいで、すごく賑や

かだった。もっと賑やかになればいいなと思いながらも、現状ではそういう受け入れ体制もあるということで、みんなでまた知恵を寄せなければいけないと思っている。

城ヶ峰砦の狼煙上げは行けなかったが、去年、日の入り城へ行ってみた。日の入り城は、実際どこに砦があったかはっきりしていない。だから、この辺だろうというところで狼煙を上げる、下から見るといような形で、名立の人たちも、もう少し探っていきたいとお話していた。

私が個人的に関心あるのは、謙信と桑取の関係である。いろいろな形で語られ記録にあるわけだが、今一つはっきりしない。春日山城は、桑取から応援してもらったのは間違いない。桑取もいろいろな点で応援したのは間違いない。なぜ謙信がというところは疑問である。たまたまこの間の歴史講座で質問させてもらったが、謙信の父親が長尾為影で、為影が最初に桑取に来たというような話らしい。8月の新潟日報に、大きく謙信と長尾為影の記事が出た。ぜひ探して見てほしい。私もよく読んでいないが、あれが歴史を掘り起こすきっかけになるのではないかとと思っている。

【坪田会長】

おっしゃるとおり、大勢来ても収容できる限界があるので、苦労しているようである。

第4期の地域協議会でも、歴史や行事に関心を持ってもらい、宣伝をしようとしたが、やはり地元のほうから、「あまり宣伝しないでくれ」ということもあって、断念したという経緯がある。それだけ承知して、参考にしてもらいたい。

【白滝委員】

まず夢盆は、私は最後のほうで参加させてもらった。去年も見たが、たくさん来ていたのでびっくりした。

たくさん来た原因をきちんと分析しておいたほうがいいと思う。これは、NPOかみえちごがやっていると思うが、駐車場等の収容についてはなんとかかなると思う。湯ったり村の奥にもまだ敷地があるし、第2駐車場もあるので、まだまだいけると思う。だからそのあたりは心配せずに、もっと人を集める。それと、金を落とす仕掛けをする。湯ったり村も協力しなければいけない。それは、NPOかみえちご、湯ったり村、市の方とで、知恵を出し合ってやってもらったほうがいいと思う。

資料にビーチラグビーが書いてあるが、これは伝統行事ではないが、21回も長浜でやっている。もう少し盛り上げたい。地元が盛り上がらないのが、最大の難点だろうが、良い催しだと思う。浜で、夏らしいスポーツで、一応全国大会である。

【坪田会長】

ビーチラグビーを始めた当初は、400人くらい来ていた。

【白滝委員】

これも人が集まれば、集まるでいいと思う。ノーアイデアで申し訳ないが、何かいい手はないかと思う。

【坪田会長】

何か1つコラボすることによって、人を惹きつける魅力は違ってくる。

先日、NPOかみえちごの理事会があったので、私の勝手な提案だが、谷浜公園ができたときに神楽をやったような取組がまたできないか、話を出した。当時は市の地域活動支援事業を利用して、地域協議会の承認の上で神楽の道具を買ったので、それをお披露目するためにやったのだが、すごい人が来た。その時に、こんにゃくを売ったり、私たち谷浜観光協会はカニ汁を売ったりした。収益もかなり出たし、すごい人で賑わった。せっかく夢盆もあるし、神楽もあるので、何かコラボして、谷浜公園であれば駐車場も十分ある。上越市内でも宣伝をして、みんなを元気づけるようなイベントをやればいいのかとは提案させていただいた。

【田村委員】

私が参加したのは、狼煙上げである。狼煙上げの準備から関わっていて、暑い時期だったので大変である。荷物を運ぶにしても、軽トラックがやっと通れるぐらいの道なので、もう少しなんとかならないかという思いは持っている。皆さんで上がってしまうと駐車場もないので、イベントをやるとすれば厳しいと思う。ただ、出城としての価値だと考えると、京谷委員のような考え方は非常に興味が湧いた。

そこに参加している人は、一番若い世代で佐藤和幸委員くらいである。会社を定年された60代の方がほとんどで、あとは大体昭和20年代生まれの方がほとんどである。だから、是非とも若い方から参加してもらいたい。

【京谷委員】

この地域で集めるのではなく、SNS等で興味のある人を集めたほうが私はいいと思う。お金もかからない。こういうものがあれば、私も行きたい。こういう特典があつて、なおかつ、例えば、くわどり湯ったり村とコラボして、宿泊費等込みで送迎付きであれば、参加者はいると思う。空掘りや掘り切りを好きな人はいる。

石田三成の出生地、滋賀県長浜市の石田会館は、公民館がやっているが、命日には3、

000人が来る。全国からSNSで集まるので、マイクロバスを出している。それぐらいの集客力が上杉謙信公にはあると思うので、地元の人よりも、外部の人を誘う仕掛けを作ったほうがいいと思う。

【中原委員】

夢盆も狼煙上げも行く予定でいたが、都合が悪く参加できなかった。

最初に、城ヶ峰砦の整備をやったのが、昭和50年代に小学校のPTAの関係で、7集落の子どもが少なくて1つにまとめようということで、森林組合から道を伐採してもらって、ワイヤーロープを張って、滑車をつけて子どもを遊ばせるようにした。それから、谷浜地域づくり協議会が入って砦を開発してくれたが、今の状態では、人を集めるには道が崩れて危ない。あれは、かつての市議会議員の岩片さんが中桑取から正善寺へ道路を作ろうということで始まった農面道路である。それで城ヶ峰砦まで道をつけて、そこからずっと長浜砦、郷津までつながっていた。人を集めるにはもう少し整備をしないと危険だと思う。

ここ1、2年は、春日山から上って、山歩きをする人が来る。こちらに車を置いておき、向こうから上がって乗って帰るということである。問題はトイレがないこと。中桑取の会館を開放してもらえないかという話もあるが、開放してしまうと、それを誰が掃除や管理をするのか。きれいに使ってもらえればいいが、汚されたままであると見当がつく。トイレがないのが、今1番問題になっている。

谷浜地域づくり協議会が一生懸命、城ヶ峰砦の活動をやっているが、今はトイレ問題等に金をかけるのではなくて、草刈り等の整備でお金をもらってやっているのが精一杯な状態だと思うので、これからどうしたらいいのか、皆さんと一緒にやっていきたいと思う。

私のところの盆踊りについては、私が子どもの頃には、お盆ではなく、夏になると子どもたちが盆太鼓を叩いて、1か月くらい毎日というようにやっていた。要するに娯楽がなかったから夜もやった。私どもが青年会になってきて、復活させようということで、それがずっと続いているが、踊り子が駄目である。私が出て手を振らないとできないということと、昔は帰省される人たちも一緒になってやったが、今は帰省時期より早い時期にやってしまうので帰省者は参加できない。そのジレンマもあってなかなかうまくいかない状態である。ただ、青年会も頑張っていて、焼き鳥やビール等を出して、収益もある。

【坪田会長】

長浜もどこも人手が足りない。

【番場委員】

長浜は、毎年8月14日前後、その年によって日にちが変わることもあるが、盆踊り大会をやっている。10年ほど前くらい、谷浜駅前で行っていたときは、旅館に泊まっているお客さんも結構来てくださった。大鼓を叩くのが好きな方がいらっしゃって、その方が盆踊りを盛り上げてくださり、宿泊客も踊りの輪に加わってくださって、ものすごく盛り上がった時期もあった。

谷浜駅前で行っていたが、駅の使用の問題もあるのかもしれないが、長浜保育園跡地に長浜会館に会場を移したら人が少なくなってしまった。駅であれば結構人が来たが、会館だと、どこからも遠いという形になって、小さなお子さんがいらっしゃる方や、お年寄りの方はほとんど見えなくなった。規模も昔は売店等をやったり、前売り券を出したりして、人を集めようということで行っていたが、その労力も惜しむ方が出てきたりして、そういうことも全部なくなったので、本当に今は寂しい盆踊り大会である。せいぜい30人くらいしかいない。私たちの仲間は、景気づけようということで、浴衣を着て踊りに必ず出るが、見ていても踊りの輪に加わってくださる方はほんの数人で、子どもたちはほとんど参加しないし、本当に寂しくなっている。先ほどのお話もあったが、この地区で盆踊りをやっているということを皆さんにお知らせして、ほかの地域からも来ていただけるとありがたいと思った。

【坪田会長】

長浜の場合は、法被や浴衣が30着くらいあると思う。持っていない方には浴衣を貸し出す。お子さんたち用に法被等も30、40あると思う。用意はしてあるが、人がいないというのが実態である。

【横田副会長】

今年の夢盆と城ヶ峰砦のほうは、参加していない。

夢盆は、私も初期の頃の実行委員だった。夢盆の前は、桑取地区では、もう30年、40年くらい前は、各町内で盆踊りや仮装行列をやっていた。母親の実家が横畑だったので、子どもの頃は、そこで見たりにしていた。その後、各町内でやらなくなってから地元の青年部で、8月14日に桑取小学校のグラウンドで櫓を組んで盆踊りをやっていた。20年以上続いていたと思う。私は最後の青年部長だったが、もっと人口が多かった頃

だから、町内の方が100人以上集まっていたし、ちょうどお盆で帰省しているお客さんも集まって、何百人も集まって、我々もそこで焼きそばを作ったりしていた。

それで何十年かやったが、ちょうどその頃、NPOかみえちごが「自分たちも昔ながらの古風な盆踊りをやってみたい、できれば地元でしかやっていないような民謡みたいのを取り入れて、少し古風な形でやってみたい」ということで、では、そちらはそちらで夢盆として8月の1週目あたりの、なるべく土日を開催することを2、3年くらい同時平行でやっていた時期があった。

桑取地区で自分たちがやっている盆踊りは、維持が難しくなって、青年部の解散と合わせて、桑取地区の盆踊りを夢盆にしようということで、私も7、8年くらい実行委員をしていたが、15年くらい前に父親が亡くなると、田んぼ仕事が忙しくなり、夢盆への参加は辞退させてもらい、私は冬の「馬」にかけて今まで活動してきた。その頃の夢盆も湯ったり村も非常に元気のある頃で、湯ったり村の東屋でお店を出して、ビール等を販売したり、花火を打ち上げたり、いろいろ賑やかにやっていた。

最近は参加していないので、実際はどんな状況かわからないが、資料の写真を見ると結構引き続いて人数も多く集まっているので、非常に嬉しいことだと思う。ただ、馬もそうだが、対外的に、もう少し人を集めるようなものがあればと思う。古風で昔ながらのやり方は珍しいと思うので、湯ったり村と協賛して、うまい仕組みを何かできないかと思っている。

城ヶ峰へは、昨年秋頃、桑取地区のレクリエーションという形で有志を募り、20人くらいで初めて上ってみたが、こんなに綺麗に整備されているのかと驚いた。今、京谷委員が言われたように、地元の間人だけでなく、もう少し広くオープンに人が集まるような仕組みをうまく作れないものかと思う。

城ヶ峰砦だけでなく、桑取、谷浜地区全体を絡めたような何か企画があると、面白いのではないかという感じはする。年をとると頭が固くなって、いい案がなかなか出てこないが、NPOかみえちごも絡めて何かやれば、いろいろな案が出てくるのではないかと思う。

【坪田会長】

みんなそれぞれ昔はやっていたことである。何ができなくなった原因なのか、探っていかなければいけないのかもしれない。昔を語って、語り継がれている人たちが今ここにいるので、その人たちがいるうちに、また復活的なものをやっていけないと、完全に

絶えるということになる。これが地域協議会の先の見方というか、地域協議会の中で考えるべきことは、そこだと思う。

自主的審議事項も、ある程度的を絞って、谷浜、桑取の活性化というか、住んでいてよかったと思うことが、1つでも2つでもあればいいのではないかと考えている。今後またこのような形で、いろいろ進めて、自主的審議事項の関係を煮詰めながら進んでいきたい。またいろいろな意見を聞かせていただければありがたい。

皆さんにお伝えしたいのは、既にチラシや回覧が回っているかと思うが、9月27日に小学校で神楽の発表会があるので、是非見にきていただきたい。毎年非常に人気で、会場いっぱいになるぐらいの催しである。

次に、学校を取り巻く環境について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・資料No.1 「令和7年度第3回谷浜・桑取区地域協議会 自主的審議について

■様子を見ながら地域協議会として関わっていくもの

「ウ．学校を取り巻く環境について エ．移住・空き家対策について」に基づき説明
前回の地域協議会で、6月20日に長浜会館で上越市創造行政研究所の藤山所長が講演したということを皆さんにお話しした。参加された委員の皆さんから、講演で紹介された内容を、是非谷浜・桑取区でも取り組めないかというお声も出ていた。その後、上越市創造行政研究所と、私たち北部まちづくりセンターで調整したところ、創造行政研究所が進めている「持続可能な地区別まちづくり推進事業」について谷浜・桑取区をモデル地区としてやってみてはどうかという打診をいただいた。

持続可能なまちづくりの事業は、地域協議会で話題としている5つのテーマ、どれにでも関わることであるし、学校の関係も地域の未来を想像する中で、学校がどうあってほしいかといった話をしていく必要があると思うので、地域協議会主催として、この創造行政研究所のプログラムに取り組んで、地域住民の方を巻き込んでやっていったらどうかと考えている。皆さんのご意見を伺いたい。

【坪田会長】

私も藤山先生の講義を3回ほど聞いたことがある。すごくポジティブな考え方である。とにかく前向きで、話し方も非常に上手で、聞いていて気持ちが入り込んでしまう。今ほど事務局から話があったように、藤山先生は、たとえ1世帯、2世帯増えるだけでもその土地のイメージ、桑取、谷浜が活性化できるという、本当に前向きな姿勢の話し方

である。私、個人としては、このプログラムを是非成功させて、やりたいと考えているが、皆さんの意見をお聞きし、賛成の方が多ければ、そちらの方向へ進めていきたいと思う。

挙手を皆さんに願います。「持続可能な地区別まちづくり推進事業」にモデル地区として取り組むという案について、賛成の方は挙手を願う。

(全員挙手)

また、事務局と相談の上、人選や団体の人たち、回覧等、いろいろ考えて、全体のプログラムを作っていきたい。一人一人の住民、地域協議会委員以外の方も共有をしながら活性化に努めていただければと思う。

次に、「オ．くわどり湯ったり村について」、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・資料No.1 「令和7年度第3回谷浜・桑取区地域協議会 自主的審議について

■様子を見ながら地域協議会として関わっていくもの

「オ．くわどり湯ったり村について」に基づき説明

地域の声を集めるため、次回以降、地域協議会委員の中で意見出しをしていきたい。どんな聞き方や質問をすれば地域の方の声が集まるのか、経営者である（株）ゆめ企画名立（以下、ゆめ企画）に伝えなければいけないことをリストアップしたいと思う。委員の中で意見交換をやってみてから、必要に応じて地域の団体の人と地域協議会で意見交換をする、また、個別に住民アンケートで全世帯に聞くなどを考えている。次回の地域協議会委員の意見出しに向けて、事務局でいくつか質問を用意した。お持ち帰りいただいて、返信用封筒で送っていただきたい。

【京谷委員】

湯ったり村は、第三セクターではないと思う。利益が出る取り組みをしなくてはいけないので、地域の声で利益が出ないものは難しいのではないかな。私たちの要望を書いても、通るかどうかわからないと思う。

【坪田会長】

今年の6月に横田副会長と佐藤幸太郎委員、事務局とゆめ企画と意見交換した際に、民営化といっても、桑取に足を着けて、地域にも活性化を求めてゆめ企画が入っていくという言い方をされていた。早速、桑取谷を走るサイクリングイベントを催すなど、地域の活性化の1つに取り組まれている現状がある。ゆめ企画も地域活性化に取り組む意識

があることを確認している。

確かに民営化が1つの壁にはなってしまうが、くわどり湯ったり村ができた意味、この桑取14kmの中で何を指すのか、あれが1つのシンボルとして、我々はずっと携えてきた、頑張ってきた経緯がある。民営化された施設を地域が草刈りボランティア等で手入れすることは「民営化したのになぜ手伝わなければいけないのか」という考え方を持っている方もおられる。それはどこに考えを求めていいかわからないが、ネガティブをポジティブに変えて、自分の気持ちを変えて、良い方向に考えていただいて、参加していただく形を目指したい。

【丸山主任】

補足する。先ほども公の施設の話があったが、今、民営化されたことで、市の公の施設のリストから湯ったり村は除かれている。施設の老朽化や利用率から見て経営が厳しく、ただ廃止するという道よりも、市が建物を無償譲渡し民間に経営してもらうということで、地域に施設を残すという方策を取った。地域のために必要な施設で、残すために民営化したという背景がある。民営化した施設であっても、地域の声を伝えていくことは可能であると考えている。

【坪田会長】

今、浴室等を修理して、年明けにリニューアルオープン的なことを計画しているようなことも言っているので、また見てみたいと思っている。

次に、その他に移る。

事務局何かあるか。

【丸山主任】

- ・次回協議会：10月17日（金）午後6時30分から

【坪田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。